

# 有田中央高等学校（清水分校）

実施日時	下記詳細参照
参加者	3回分合計 生徒33名、教職員29名、清水消防署員3名、保護者1名 総計66名
実施内容	下記詳細参照

## 実施日時/参加者/実施内容 詳細

災安全班に提出

10月31日 職員会議

### (1) 開催日時

- ① 6月14日（木）9:05～10:45
- ② 8月30日（木）10:45～12:35
- ③ 11月1日（木）9:45～10:35

### (2) 参加者

- ① 生徒11名、消防署員1名、教職員9名
- ② 生徒11名、消防署員2名、教職員10名  
保護者1名
- ③ 生徒11名、教職員10名

### (3) 実施内容

- ① 応急処置講習会
- ② 防災スクール「火災避難訓練」（通報訓練・避難訓練・消火訓練・煙体験・防災講座）
- ③ 「世界津波の日」地震避難訓練（シェイクアウト訓練・避難訓練・「世界津波の日」「稲村の火」に関する講話）

## 主なプログラム

### (1) 応急処置講習会

- ① 応急処置の必要性に関する説明の後、体位・搬送・止血について全般的な説明。
- ② 三角巾を使って、止血・固定の具体的な方法を実習。



## 事前の取組

### (1) 応急処置講習会

- 4月18日 清水消防署との打ち合わせ  
4月25日 職員会議

### (2) 防災スクール「火災避難訓練」

- 6月14日 清水消防署と日程調整  
8月 8日 清水消防署と打ち合わせ  
8月22日 総務部会  
8月24日 職員会議  
8月27日 区長・保護者への協力依頼

### (3) 「世界津波の日」地震避難訓練

- 9月25日 参加シートを（県）健康体育課防

### (2) 防災スクール「火災避難訓練」（総合訓練）

- ① 「食物教室から出火」の想定で、初期消火・火災通報・避難誘導・救護体制の訓練
- ② 消火器を使った、消火訓練
- ③ 煙を充満させた教室に入る、煙体験
- ④ 火災に関するDVDを視聴して、火災防止講座
- ⑤ 振り返りシートの記入





### (3)「世界津波の日」地震避難訓練

- ① 緊急地震速報に合わせて、シェイクアウト訓練
- ② 「避難開始」の放送により、校庭への避難訓練
- ③ 「世界津波の日」及び「稲村の火」に関する講話
- ④ 「避難カード」への記入



### 参加者感想文

- 学校に消火器があるのはもちろん前から知っていたが、実際に使ったことはなかったので、今回の講習で知ることができてよかった。今回の体験で実際に火事が起きた時に自分がどのような行動をすればいいか、しなければならぬかを考えることができた。
- 電化製品や延長コードなどは身近にある物なので、改めて危険な場所がないかどうか家に帰って確認したいと思った。コンセントを差しっぱ

なしの所もあるので、家族と話したいと思う。また、灯油とかは自分では入れないけれど、自立して一人暮らしをするようになった時には使用方法に気をつけたい。そして、火事になった時にはあせらず今日の教訓を生かして対応できるようにになりたいと思う。

### 成果と課題

応急処置講習会では、総合病院等の医療施設までの距離が遠いという地域の課題を意識して、初期の対応が重要であることを再認識した。また、7月の体育の授業中に生徒が「熱中症」の症状を起こした際には、教員も生徒も慌てずに適切な処置を行うことができ、その後救急搬送し、大事には至らなかった。

火災避難訓練では、少人数でもあるため、全員が消火器の使用や煙体験を行うことができ、とても参考になったという感想が書かれていた。山間地にあるため、冬季は暖房が欠かせず、各部屋には石油ストーブが設置されている。教室のストーブは原則生徒たちで管理するので、火災防止に対する意識は必要であり、よい機会となった。

地震避難訓練では、山間地のため津波は想定外であるが、土砂崩れや路面崩壊による交通の遮断や、電柱や電線の損壊による停電の被害は十分予想されることを確認した。9月の台風21号では、有田川町の山間部で停電が長期間続き、分校の生徒の中には10日以上停電状態だった者もいた。学校のある地域は比較的早く復旧したのでよかったが、電話・インターネットはもちろん、携帯電話も不通になり、ほぼ1日は生徒や有田中央本校との連絡もできなかった。災害後の状況に対応できる体制づくりが必要である。

